



持続的な、
社会と世界を。

**農林水産省選考採用
(事務系・技術系)
業務説明会**

2025年8月

農林水産省 北海道農政事務所

お伝えしたいポイント①

- 北海道農政事務所は**農林水産省の地方機関**であり、**北海道を管轄**しています。
- 農林水産省では**職務経験者の採用を積極的に実施**し、**国家公務員一般職（係長級）相当の正職員**として採用しています。**北海道農政事務所でも約50名の選考採用者が活躍**しています。
- 今年度は、農林水産省**選考採用**及び**人事院経験者採用試験（係長級(事務)）**から採用を予定しています。

- 選考採用**は、今年度は**8月1日～10月14日に募集**しており、**書類審査（履歴書、小論文等）、人物試験（面接等）**により選考します。

（経験者採用試験の今年度の応募受付期間は終了。）

- 選考採用**は、事務系と技術系に採用が分かれていますので、事務系又は技術系を選択して応募してください。
（**事務系と技術系の併願はできません。**）

【選考採用の主な応募資格】

- ・ **大学、短期大学、高等専門学校若しくは高等学校を卒業**した者及びこれらと同等以上の学力を有すると認められる者
- ・ **一定の職務経験**を有する者（大学を卒業した者は7年以上等）

- 農林水産省は、食料の安定供給、農林水産業・食品産業の発展、食の安全確保、農林水産物・食品の輸出促進など幅広い政策を担っており、「食」と「環境」を核として、幅広いフィールドで活躍できます。**
- 選考採用者の職歴は様々であり、公務員のほか、小売・卸売、教育、旅行、サービス、不動産、農林水産などの様々な業種から転職しています。**
- 農業関係、公務関係の経験が全くない方も採用しています。**
(何らかの形で前職経験を活かせる職場です。)
もちろん、農業関係、公務関係の職歴がある方は大歓迎です。

- 転勤範囲は、基本的に北海道内（札幌、函館、旭川、釧路、帯広、北見）ですが、採用後のキャリアパスの中で北海道以外の勤務地に異動となる可能性があります。**
- おおむね2年程度ごとに様々なポストを経験していただきながら、将来的に、自分にあった分野のスペシャリストや幅広い知識を持ったゼネラリストになっていただきます。**
- 残業は比較的少なく、休暇も取りやすい職場のため、プライベートの時間が確保できます。**
- 育児、介護等との両立が必要となった際には、時差出勤、短時間勤務、育児休業、介護休業等が可能であり、職員が働きやすい職場を目指しています。**



CONTENTS

本日お話しすること

01

農林水産省のミッション

02

農林水産省の職場環境

農林水産省は何のために存在しているのか

農林水産省ビジョン・ステートメント

わたしたち農林水産省は、
いのち
生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を
未来の子どもたちに継承していくことを使命として、
常に国民の期待を正面から受けとめ
時代の変化を見通して政策を提案し、
その実現に向けて全力で行動します。

農林水産省は何のために存在しているか

- 生命を支える「食」

→生命の維持・健康で充実した人生
のために必要不可欠な**食料**
生産現場から消費者の口に入るまで



- 安心して暮らせる「環境」

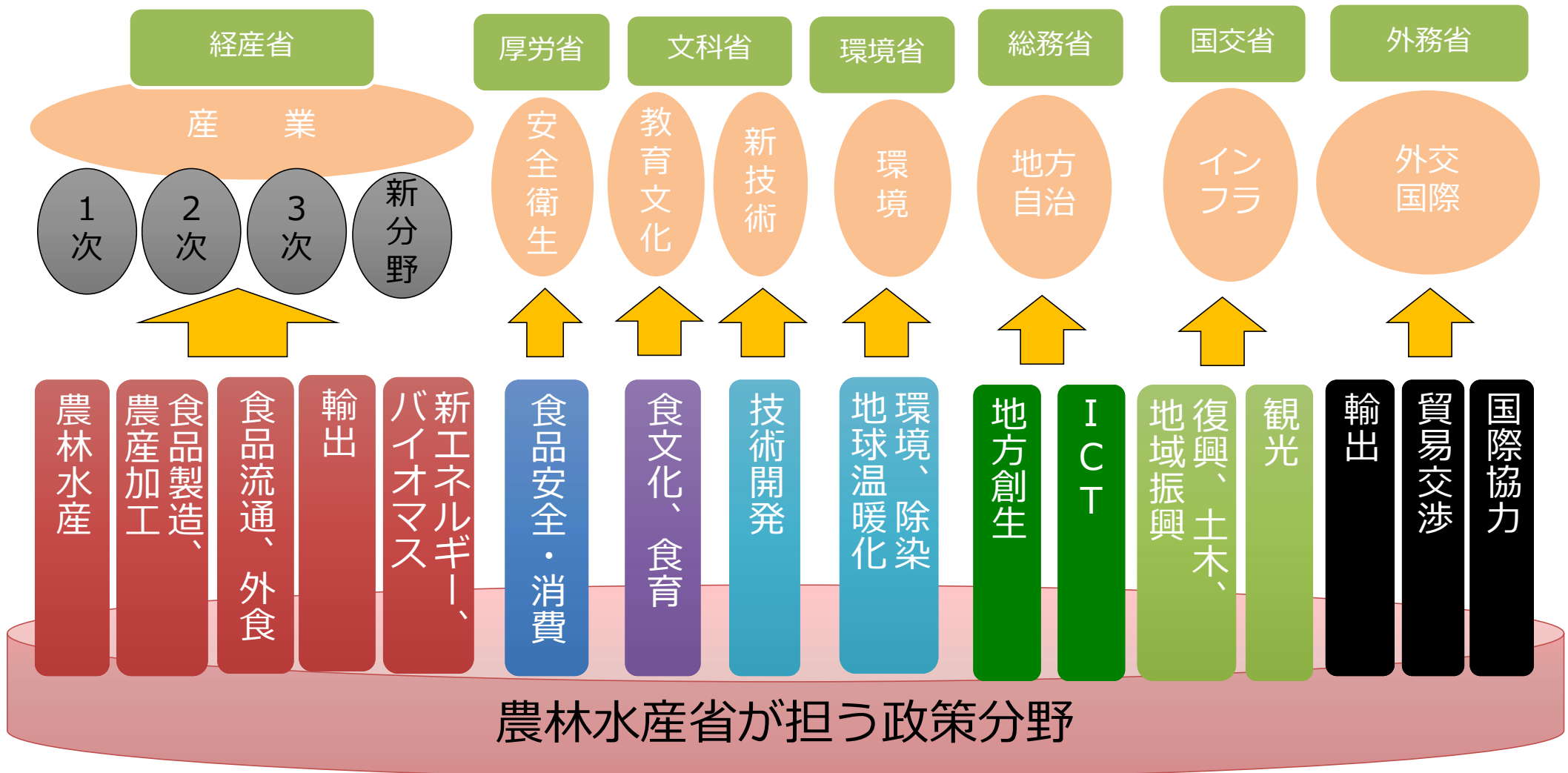
→農林水産業・農山漁村の**多面的機能**
(国土の保全・防災、自然環境の保全、
良好な景観の形成、食文化・伝統芸能の伝承)
農林水産業を中心に営まれる**コミュニティ**
食を通じた**豊かな暮らし**



→それを今の私たちだけでなく、**未来にわたって受け継いでいく**

農林水産省が担う政策分野

▼農林水産省は、「食」を中心に、産業政策、地域振興、インフラ、文化、外交等の幅広い政策分野を総合的に担うため、「**総合政策官庁**」と呼ばれています。



「食」や「農」を取り巻く様々な課題をどうすれば解消できるのか？
農業の成長産業化のため、どのような仕掛けが必要か？

政策の企画・立案（主に本省）

- ・課題の設定
- ・基本的な方針の作成

- ・政策手法の検討
（法令、事業等）

- ・政府内、外部との調整
- ・法令作成、予算の確保

政策の実行（主に地方農政局）

- ・政策の現場への周知
- ・法令、事業等の執行
（交付、検査等）

- ・政策情報の収集
- ・現場の問題点の把握

水田の活用に向けた施策例（R6年度）

○ 戦略作物助成（水田活用の直接支払い交付金等のうち）

水田を活用して、**麦、大豆、飼料作物、WCS用稲、加工用米、飼料用米、米粉用米**を生産する農業者を支援。

対象作物	交付単価
麦、大豆、飼料作物	3.5万円/10a※1
WCS用稲	8万円/10a
加工用米	2万円/10a
飼料用米、米粉用米	収量に応じ、5.5万円～10.5万円/10a※2

※1：多年生牧草について、収穫のみを行う年は1万円/10a

※2：飼料用米の一般品種について、令和6年度については標準単価7.5万円/10a(5.5～9.5万円/10a)

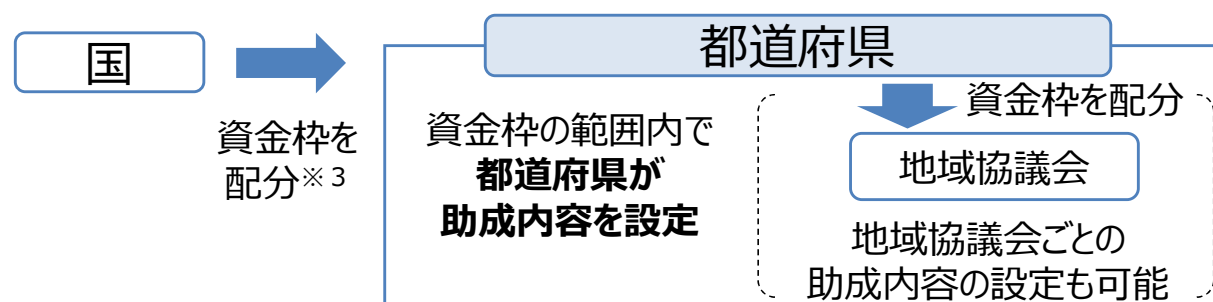
今後、標準単価を段階的に引き下げ、令和8年度において標準単価6.5万円/10a(5.5～7.5万円/10a)とする

＜交付対象水田＞

- ・ たん水設備（畦畔等）や用水路等を有しない農地は交付対象外。
- ・ 5年間で一度も水張り（水稻作付）が行われない農地は令和9年度以降は交付対象水田としない。
- ・ 水張りは、水稻作付けにより確認することを基本とする。ただし、①湛水管理を1か月以上行い、②連作障害による収量低下が発生していない場合は、水張りを行ったものとみなす。

○ 産地交付金（水田活用の直接支払い交付金等のうち）

「水田収益力強化ビジョン」に基づく、**地域の特色をいかした魅力的な産地づくり**に向けた取組を支援。



○ 当年産の以下の取組に応じて資金枠を追加配分

取組内容	配分単価
そば・なたね、新市場開拓用米、地力増進作物の作付け（基幹作のみ）	2万円/10a
新市場開拓用米の複数年契約※4 (3年以上の新規契約を対象に令和7年度に配分)	1万円/10a

※3：作付転換の実績や計画等に基づき配分

※4：コメ新市場開拓等促進事業で採択された者が対象

北海道農政事務所では、これらの予算や制度の周知・説明、申請書類のチェック、交付の事務手続き、協議会や農業者・事業者への指導・助言等を実施しています。

- 北海道農政事務所では、北海道に密着した支援体制として令和4年11月に「GFP北海道」を発足。
「GFP北海道」の取組を通じて、**北海道内の農林水産事業者・食品事業者等、これから輸出に
取り組もうとする初心者から経験者まできめ細かくサポート。**



令和6年度の取組

➤ 地方自治体や商工会等の経済団体と連携した輸出促進の取組

輸出支援PF（台湾、シンガポール）や現地専門家がオンライン登壇し、道内4地域（小樽、函館、名寄、札幌）でセミナー等を開催。

参加者のうち希望者は、令和7年1月中旬に台湾とシンガポールで実施するテストマーケティングに参加予定。



ワークショップの様子（9月5日、函館）



セミナーの様子（10月4日、札幌）

➤ 輸出に取り組む地域商社を育成する取組

小口でも輸出したい事業者を束ねることが
できる地域商社を育成するため、実践的なノウ
ハウ・知識を習得させる取組を実施。

営業力強化・輸送テクニック習得を目的にセミ
ナーを10月に開催。1月中旬には台湾とシンガ
ポールで現地バイヤーとの商談を体験予定。

➤ 伴走支援のための体制の構築・稼働

輸出事業者の課題に応じて必要な輸出専門
人材の手配・調整を行うことのできる体制を
構築・稼働。

- ✓ 輸出産地サポーターの派遣
- ✓ 本省GFPとの連携による専門家派遣
- ✓ プロフェッショナル人材戦略拠点との連携

食育推進の施策例（R6年度）

北海道の郷土料理等発信レシピ本

「受け継ぎたい 北海道の食」vol.2 野菜・果樹編を作成

「受け継ぎたい北海道の食～そのおいしさ、技、食材の魅力～」をテーマに、平成30年度から5年間北海道の食のおいさと技術、食材の魅力などを伝える動画を広く募集するコンテストを実施。

北海道の食文化は、厳しい自然環境、開拓への挑戦、地域や家族への愛情などが、交じり合って生まれたといえます。

そこで、北海道の食について関心を持っていただけるよう、受賞作品を中心にレシピを冊子にまとめました。

【活用方法】

（1）北海道の食を「知る」

料理と産品の背景にある歴史や先人たちの想いなどを知ることができます。また、掲載している2次元バーコードから動画を視聴することができ、料理や産品について詳しく理解することができます。

（2）北海道の食を「作る」

料理のレシピをみて実際に作ることができます。家庭にある材料で簡単に郷土料理を作ることができることを実感してもらい、美味しく味わっていただきたいと思います。

（3）北海道の食を「伝える」

この冊子を通じて気づいたことなどを身近な人に伝えることは、北海道の食文化の保護・継承に繋がります。



以下のリンクまたは2次元バーコードで「受け継ぎたい 北海道の食」レシピ本のほか動画コンテスト受賞作品などを紹介しています。

https://www.maff.go.jp/hokkaido/jigyoku_shien/syokubunka/wasyoku.syokubunka_top.html



地方機関での仕事の風景①



高収益作物の生産・需要
拡大現地検討会の様子
@近畿農政局



麦・大豆に関連する支援
策（補助事業）の説明
@九州農政局



米粉普及に関するイベン
トにおいて、地元テレビ
局の取材対応
@北陸農政局



親子花育セミナーで
参加者に説明している様
子
@東海農政局

地方機関での仕事風景②

災害対応



政務出張随行



生産者説明会



資料作成



打合せ



情報収集



補助事業関連視察



BUZZMAFF撮影



電話対応



データ整理



PRイベント



自治体説明会



オンライン会議





CONTENTS

本日お話しすること

01

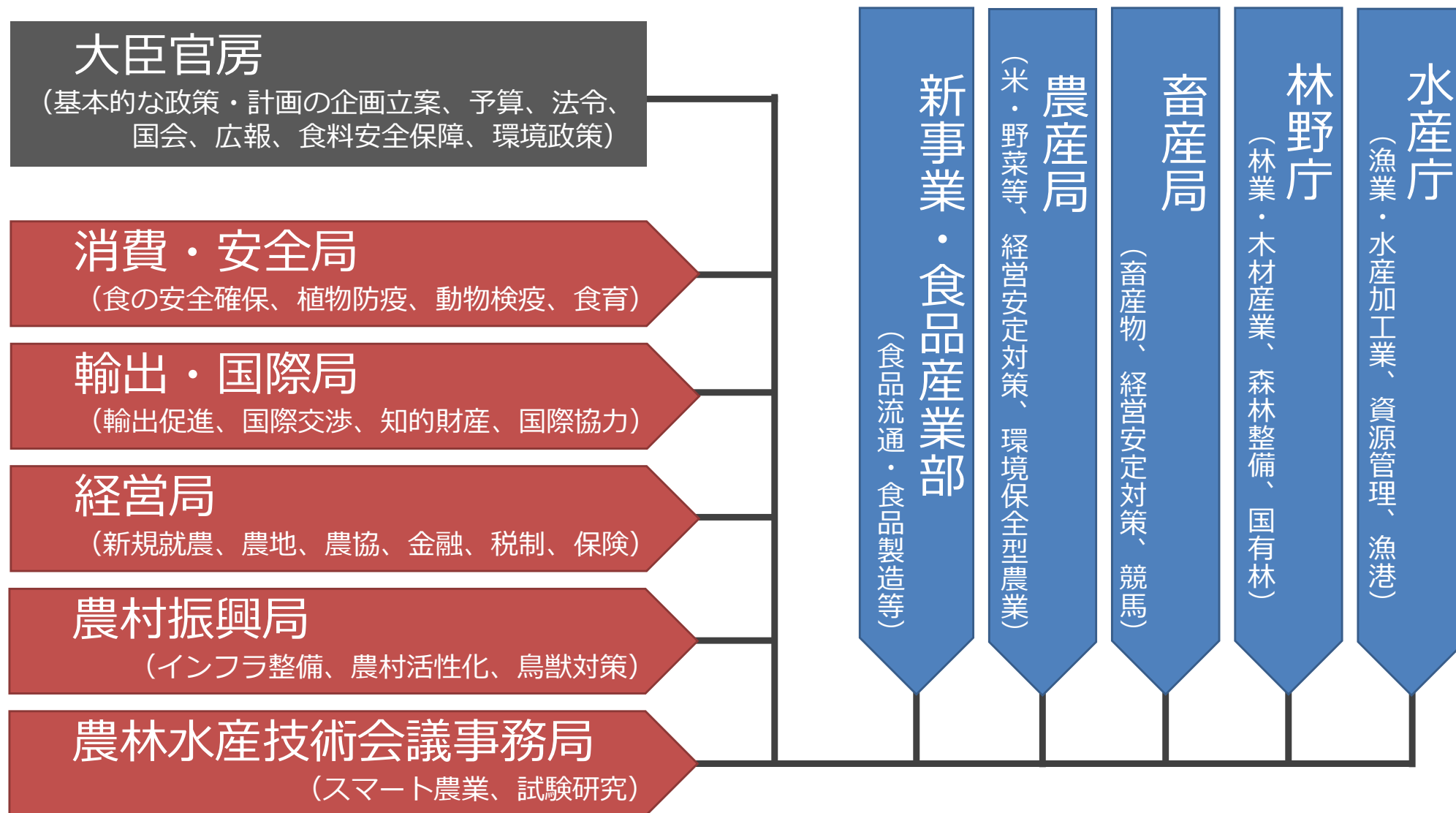
農林水産省のミッション

02

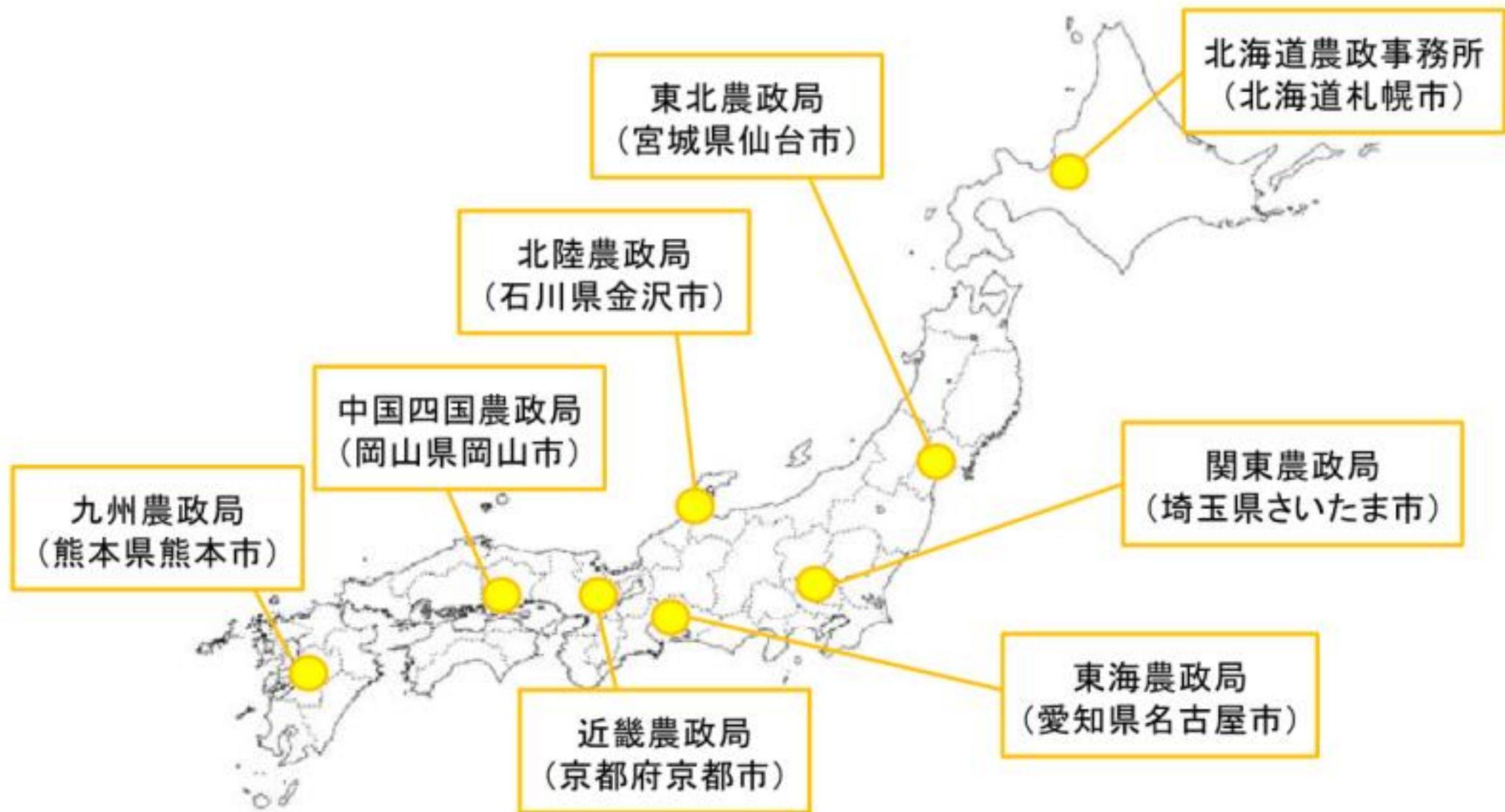
農林水産省の職場環境

本省の組織

それぞれの**品目**（米、肉、魚など）の産業振興を行いながら【縦軸】、
全ての品目に**共通する課題**（環境、防疫、国際交渉、新規就農、インフラ整備など）
については、品目横断的に政策を打ち出しています【横軸】。



地方農政局の所在地



北海道農政事務所の組織

北海道農政事務所

企画調整室

・各種政策の推進・調整・広報、防災対策の事務等

総務管理官

総務課 会計課

・文書管理、個人情報保護、職員の福利厚生、人事等
・予算の執行、支出の決定、物品の管理、売買等の契約、
営繕及び庁舎内の管理

生産経営産業部

生産支援課

業務管理課

担い手育成課

事業支援課

・地域農業生産の振興、酪農・畜産の振興、
米穀の需給・価格の安定等
・政府米の管理、農産物検査
・経営所得安定対策の推進及び交付金の支出・決定
・農林水産物・食品の輸出対策、再生可能エネルギー、
バイオマスその他の資源の有効な利用の確保

持続的食料システム 戦略推進官

輸出対策推進官

消費・安全部

消費生活課

米穀流通・食品表示監視課

農産安全管理課

畜水産安全管理課

・食の安全に関する情報の受発信
・米の適正な流通に向けた監視
・農産物の安全性確保、農薬・肥料の適正使用
・牛トレーサビリティ制度や畜水産物の安全性などの確保

統計部

調整課

統計企画課

経営・構造統計課

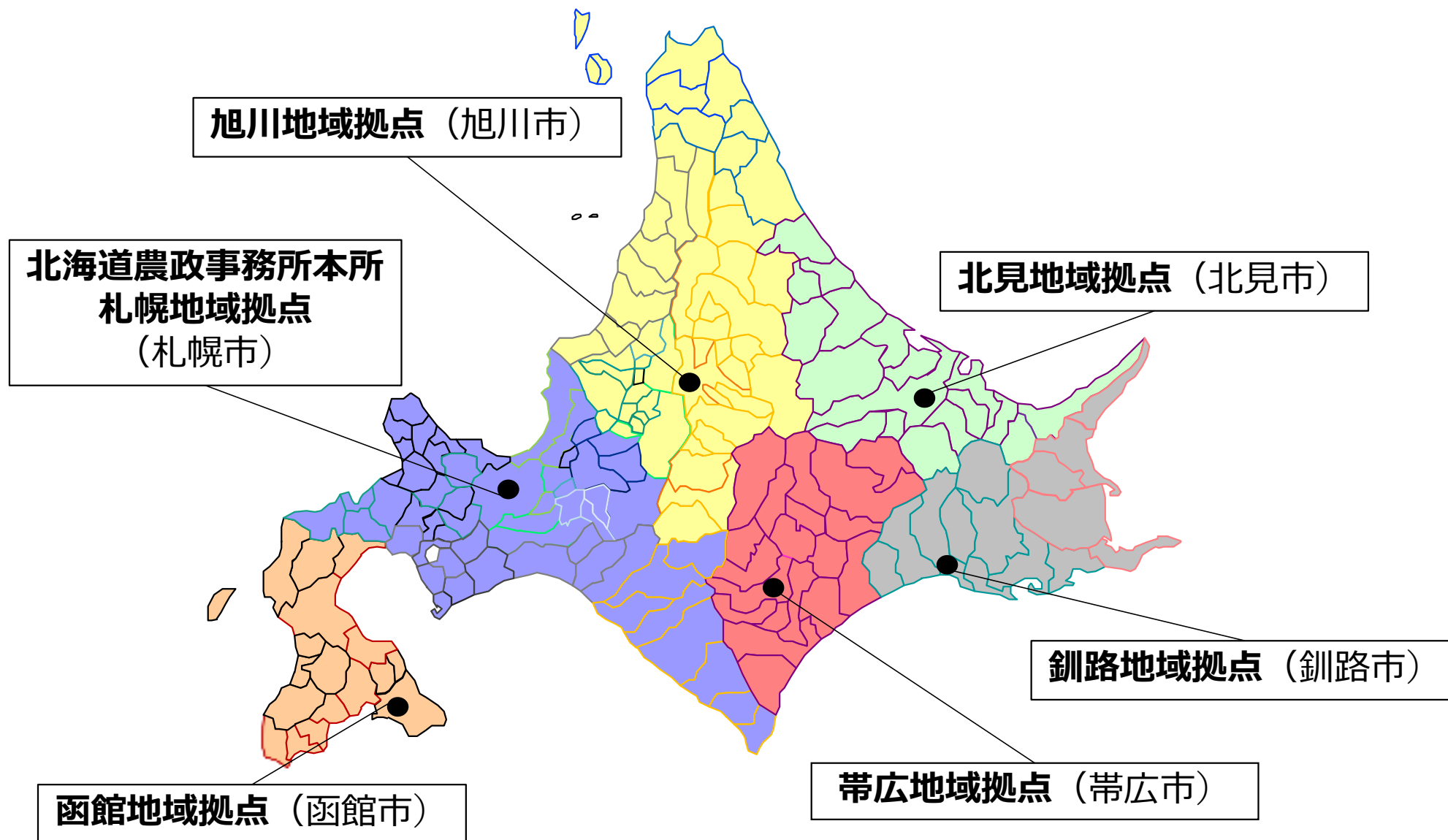
生産流通消費統計課

・統計の広報及び普及
・統計データの加工・分析、結果等の提供
・農林漁業の経営・構造の実態把握
・農林水産物の生産・流通・加工・消費の実態把握

地域拠点（札幌、函館、旭川、釧路、帯広、北見）

北海道農政事務所の組織

北海道農政事務所は、**本所（札幌市）**と**6箇所**の**地域拠点（札幌、函館、旭川、釧路、帯広、北見）**で構成され、全道で**400名以上の職員**が働いています。

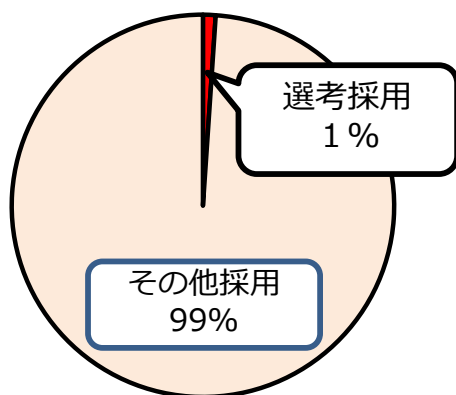


選考採用職員（事務系）のデータ①（北海道農政事務所）

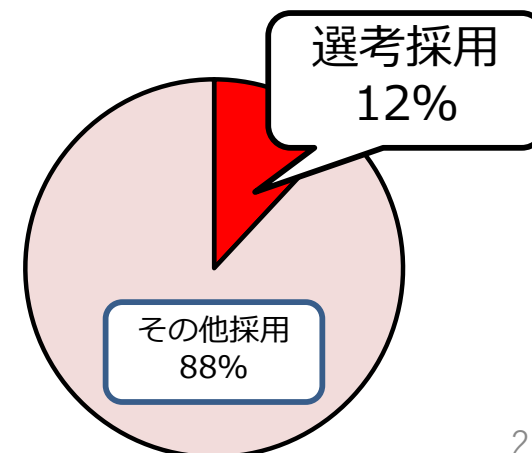
北海道農政事務所における**選考採用（経験者採用）**は令和2年度から始まりました。
年によって、採用者数のバラつきはあるものの、農政事務所全職員に占める**選考採用職員（事務系）の割合は年々増加**しており、今後も増加することが見込まれます。

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
採用者数	4名	11名	6名	10名	10名	10名
選考採用割合	1%	4%	6%	8%	10%	12%

令和2年度



令和7年度

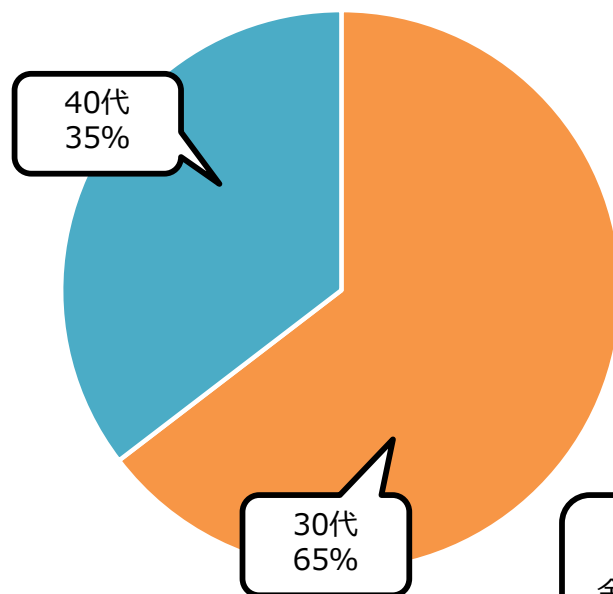


選考採用職員（事務系）のデータ②（北海道農政事務所）

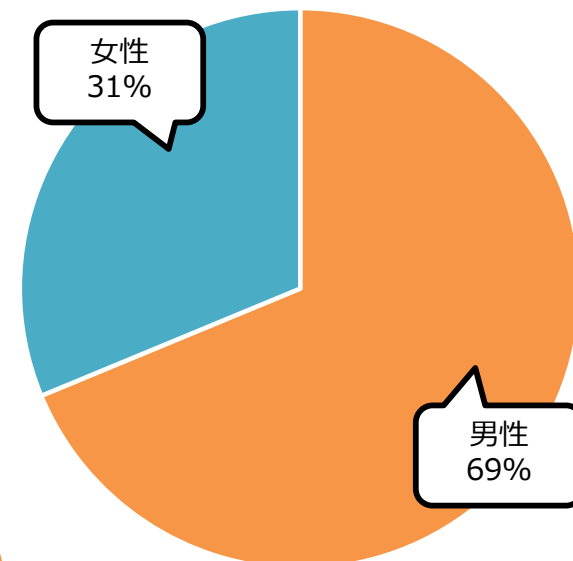
北海道農政事務所の選考採用職員（事務系）の採用時の年齢は30代が多く、男女比は3：2です。

前職は、公務員を中心に幅広い業種から採用しています。

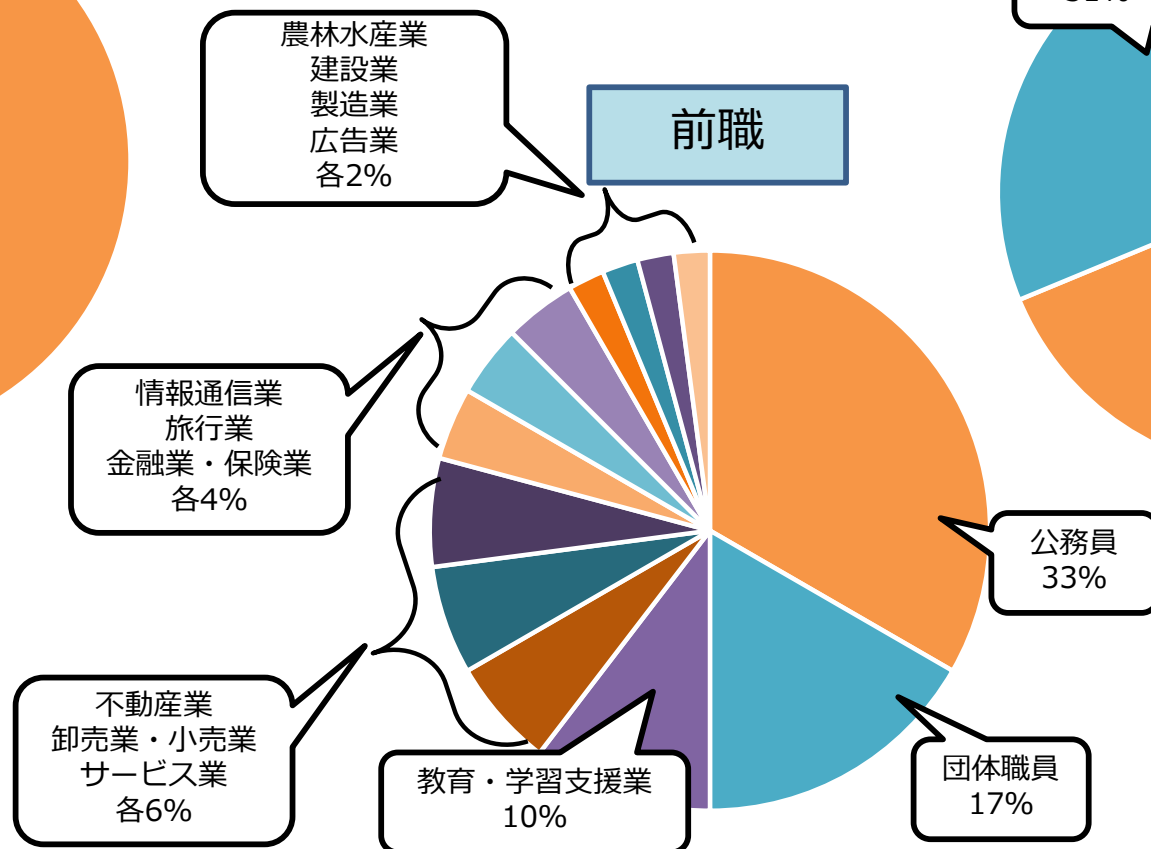
採用時の年齢



男女比

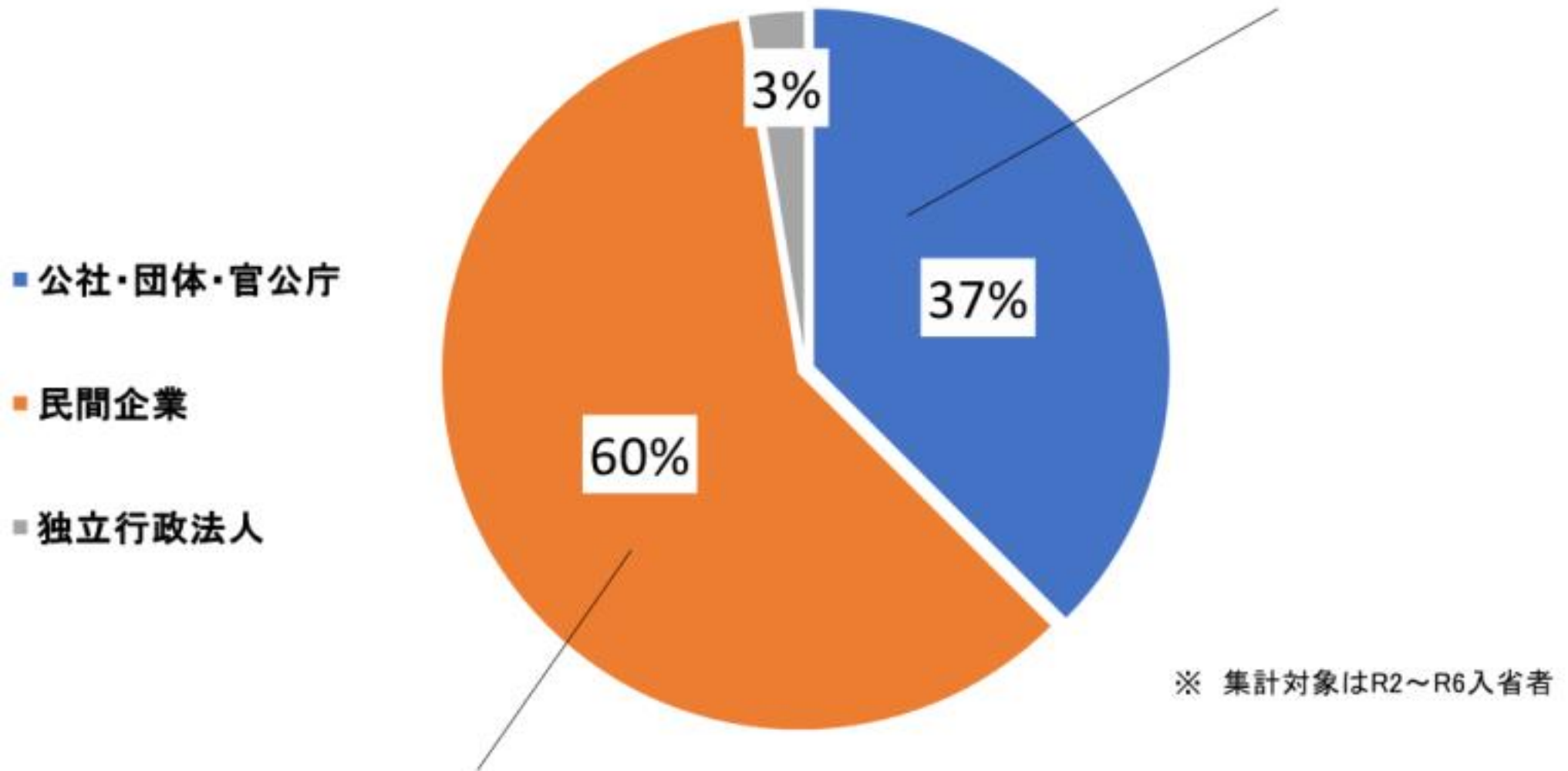


前職



選考採用職員（技術系）の前職データ（農林水産省）

他省庁、県庁、市役所・区役所・町役場、大学、研究機関など出身は多岐に渡ります！



食品メーカー、化学メーカー、コンサル、農協、IT企業、建設会社など業種は様々！

働き方について①

- 全職員に持ち出し可能な端末(セキュア端末)が配布され、全職員が新しいソフトウェア(**Microsoft M365 E5(Teams等)**)を活用できるシステム環境となっています。

通信環境が大幅に改善！

- ・広帯域で高セキュリティの回線が配備。
- ・庁舎内LANは、高速なWifi(Wifi6)通信が可能に。



持ち出し可能な端末

- ・全職員に、高機能、高セキュリティ機能を備え軽量端末(セキュア端末)が配布。
- ・庁舎外でも携帯電話の電波が届く場所であれば、業務が可能。



コロナを経て働き方が変革しています！！

Teams等の利用で働き方が変革！

- ・Teamsは、チャット、ウェブ会議、ファイル共有、ファイルの共同編集といった機能が集約された新しいコミュニケーションツール。
- ・ライセンスは全職員に配布され、誰でもウェブ会議を開催。

- ・Teamsのほか、データ分析ができるPowerBI、業務を自動化できるPowerAutomateなども全職員利用可能。



BYODで外出先でもコミュニケーションOK！

- ・私物スマートフォンに、Teamsなどのアプリケーションをインストールすることが可能。
- ・これにより、外出中でも、チーム会合に参加することが可能。また、写真などの映像をTeamsに投稿することができるので、例えば、災害現場の状況などをリアルタイムに報告することが可能。

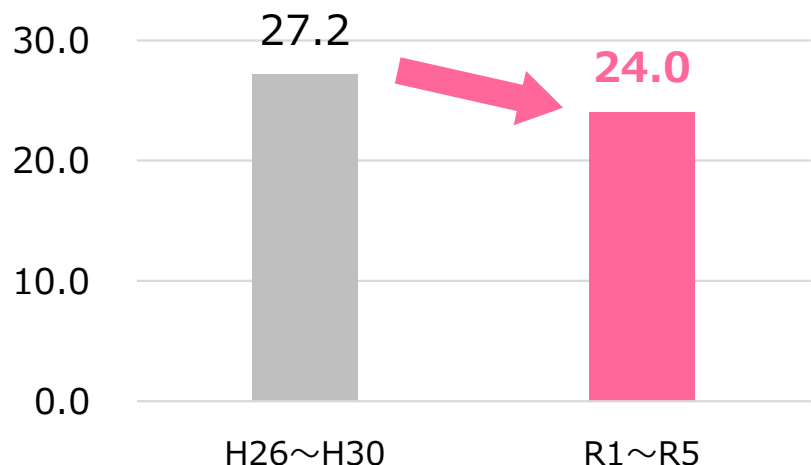
(注)BYOD:私物端末の業務利用



働き方について②

○ 超過勤務時間は減少傾向

(時間/月)



出典：農林水産省HPを基に作成

○ 職員一人当たりの超過勤務時間(一月あたり)

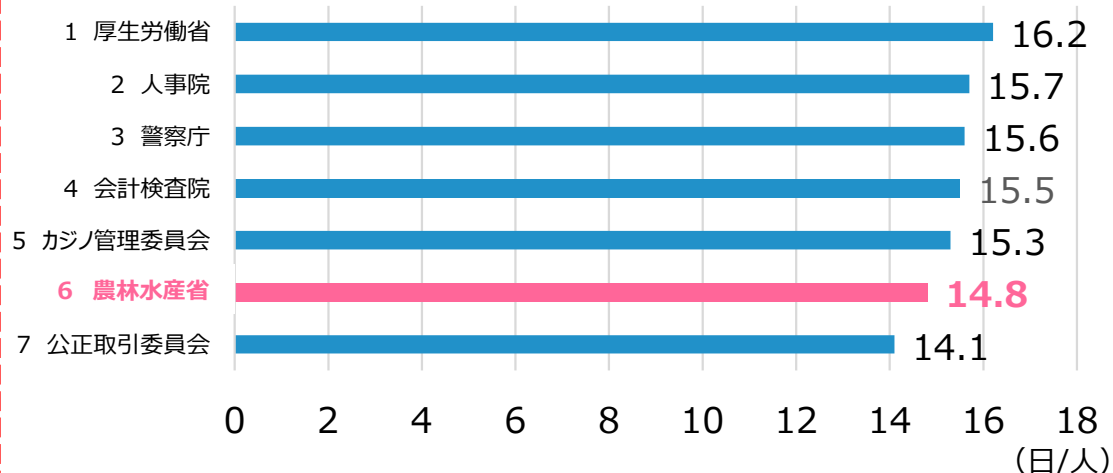
本省 (常勤職員)	22.0時間
地方機関 (常勤職員)	6.7時間
合 計	10.7時間

※令和5年における職員一人当たりの平均超過勤務時間数。
出典：農林水産省HP

○ 休暇取得

一人当たりの年次休暇取得日数は、**全省庁で6番目**

年次休暇取得日数(国家公務員(行政))



出典：内閣府男女共同参画局 女性活躍推進法「見える化」サイト R4年末数値

○ 多様な働き方～テレワーク等～

- ・テレワーク、フレックスタイム制度、早出遅出出勤など、ライフスタイルに合わせた勤務時間の選択が可能。
- ・令和2年度実績では、**テレワークの実施回数**が多い府省(本省)で農林水産省は**全省庁で3番目**(国家公務員テレワーク取組状況等調査より)。

働き方改革
キャラクター



働き方について③

男性・女性職員ともに、生き生きと輝ける働きやすい環境づくりに取り組んでいます。

育休取得率 男性：84.0%、女性：100.8%

(令和5年度)

(参考)

外務省	男：42.3%、女：92.7%
厚労省	男：97.2%、女：102.7%
経産省	男：72.2%、女：109.3%
国交省	男：73.4%、女：114.0%
環境省	男：68.8%、女：110.5%

▶ R4年度から、子どもが生まれた男性職員は「1ヶ月以上育児に伴う休暇・休業を取得する」ことが前提となり、省全体で男性の育児休業取得を推進しています。

農林水産省に併設された保育園



(例) 育児と両立する場合

【女性】出産～育児休業

- ・産前休暇(産前6週間前から出産の日まで)
- ・産後休暇(出産の翌日から8週間)
- ・育児休業(子が3歳に達するまで)

【男性】配偶者の出産～育児休業

- ・配偶者出産休暇(出産時の付き添いで2日)
- ・育児参加のための休暇(妻の産前産後期間中に5日)
- ・育児休業(子が3歳に達するまで)

【育児休業復帰後】仕事と育児の両立

- ・育児短時間勤務(通常よりも短い勤務時間で勤務)
- ・子の看護休暇(年5日)
- ・テレワーク、フレックスタイム制



新規採用者向け研修

入省1年目の職員を対象に4月に開催します。
公務員としての心構えや農林水産行政の基礎知識等を学びます。

農村派遣研修

入省2年目に在職する職員を**農家の元に5日間派遣**し、**農林水産業の実情を経験**する研修

職員向け研修

北海道農政事務所では**能力向上、知識習得のための様々な研修、現場視察に参加可能**であり、**対面**研修のほか、**オンライン**研修も充実しています。

【研修例】情報セキュリティ研修、文書管理研修、ITパスポート研修、農業関連施設の視察、担当業務に関する研修（畜産、食品安全、統計、会計、情報技術など）



選考採用職員を紹介①

(Q1.前職の内容、Q2.志望理由、Q3.現在の業務内容、Q4.職場の雰囲気)



R4年度入省 生産経営産業部生産支援課

A1

小・中学生向けの学習塾で勤務をしていました。教科指導はもちろんのこと、担当していた地域での教室運営、アルバイトの学生さんのマネジメント、教材作成などに携わりました。

A2

元々、北海道の基幹産業である農業に携わる仕事をしたいという思いがありました。入省したいと強く思ったきっかけは、たまたま見つけた北海道農政事務所の業務説明会に参加したことでした。農林水産業に関するプロフェッショナルとして、一次産業で北海道が今抱えている課題を一緒に解決していくという点や、何よりも「人」を大切にしたコミュニケーション重視の職場環境という点に惹かれ、志望しました。

A3

現在は生産支援課にて、主に、国の補助事業の一つである「産地生産基盤パワーアップ事業」の窓口業務を担当しています。収益力強化に計画的に取り組む産地に対し、農業者等が行う高性能な機械や施設の導入等に対して総合的に支援する事業であるため、相談から始まり事業内容の審査等、その業務は多岐に渡ります。覚えることが多く、大変な業務ではありますが、農業者等と関わりながら共に産地を盛り上げていける感覚も得られるため、とてもやりがいのある仕事です。

A4

業務説明会でのお話の通り、「人」を大切にしている職場だと感じています。職場内でのコミュニケーションがとても丁寧であることも、根底に「お互いを尊敬している」からであると思っています。また、農林水産業に関するプロフェッショナルとしての業務が様々あり、自分次第で、いろいろなことに「チャレンジができる職場」とも感じています。

受験者の方へ

北海道農政事務所は業界未経験であっても、社会人としての経験を活かせる職場です。また、転職活動は自分自身と対話を重ねた先にある「ご縁」だと思います。（私も業務説明会の案内と出会わなければ、今ここにいません（笑））生命を支える「食」や安心して暮らしていくための「環境」を守っていく責任のある仕事ではありますが、それだけやりがいもあります。ぜひ、一緒に北海道の基幹産業を盛り上げていきましょう！

選考採用職員の紹介②

(Q1.前職の内容、Q2.志望理由、Q3.現在の業務内容、Q4.職場の雰囲気)



R5年度入省 札幌地域拠点

A1

道内の観光地にある硝子製品の販売店に勤めておりました。接客対応を中心に、新商品企画や販売促進、従業員育成などマネジメント業務に携わりました。

A2

前職では、笑顔で商品を購入してくださった時の嬉しさを何よりの糧としてきましたが、より多くの方の笑顔が見たい、多くの人のお役に立ちたいと思うようになりました。もともと食生活に関心を持っていたこともあり、「食」を通して人々の暮らしを豊かにしたいと思い、志望しました。

A3

札幌地域拠点に所属しており、担当する地区の農業者や関係機関に出向き、関係する事業・制度の情報提供や意見交換等、現場と農政を結ぶ業務に携わっています。また、新規就農者や有機農業等、農業の魅力を幅広く発信するべく、現場の取材を行い、札幌地域拠点のホームページに掲載する業務にも携わっています。

A4

札幌地域拠点は職員間のコミュニケーションが活発で、わからないことは上司や先輩にすぐに相談できる環境だと感じています。また、「失敗を恐れずチャレンジしてほしい」と助言をいただき、当所で開催される様々な研修や説明会に積極的に参加し、自身の業務に反映できるよう日々取り組んでいるところです。前職はシフト制の勤務形態でしたが、規則的な勤務形態であることや、年次休暇の取得がしやすく、生活にメリハリがつけました。

受験者の方へ

私自身、選考採用試験の応募を知った時は、「私にはハードルが高すぎる・・・」と躊躇し、ギリギリまで応募できませんでした。しかし、前職の経験や自身の強みが入省してからどのように生かせるか少しでもイメージできれば、受験のチャンスだと思います。「日本の食料基地」と呼ばれている北海道の農業と一緒に盛り上げていきましょう。

社会人採用のスケジュール（選考採用・経験者採用試験）

農林水産省 選考採用

一般職係長級（事務系・技術系）

8/1～10/14

申込期間

※事務系又は技術系を選択して応募

10/14～24

第1次選考

（書類選考、論文試験）

10/29

第1次選考結果発表

11/25～12/2

第2次選考

（人物試験）

12/15

最終合格発表

人事院 経験者採用試験 係長級（事務）

7/28～8/18

申込期間

10/5

第1次試験

10/31

第1次試験合格発表

11/15～16

第2次試験

12/5

最終合格発表

12/9～

官庁訪問

12/17

内定解禁

庁舎移転を予定しています！！

2026（令和8）年春頃 庁舎移転予定



新庁舎完成イメージ

新住所：北海道札幌市中央区北2条西19丁目 札幌第4地方合同庁舎（建設中）

現住所：北海道札幌市中央区南22条西6丁目2-22 エムズ南22条ビル

採用関係の情報

○分からないことがありましたら、お気軽にお問い合わせください。

【お問合せ先】

北海道農政事務事務所総務課人事グループ

Mail: saiyo@maff.go.jp

Tel: 011-330-8804

・選考採用の詳細や北海道農政事務所の概要がわかる！



【北海道農政事務所採用関係HP】

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/soumu/jinji/kantyouhoumon.html>



マイナビ転職フェアに出展します！！

日時：2025年9月14日（日） 11：00～17：00 ※受付 10:00～16:30

会場：札幌パークホテル B 2 F パークプラザ

<https://tenshoku.mynavi.jp/event/hokkaido/20250914A/>

直接お話しすることで、よりくわしい情報をお伝えできます。

疑問・質問にお答えする時間もありますので、お気軽にお越しください！

お申し込みは
こちらから

